

第2 30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	11月中		11月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	18	+2	1.00	141	+5	1.00
	30日死者	2	±0	0.11	31	±0	0.22
	30日以内死者	20	+2	1.11	172	+5	1.22

○ 全国

死者	区分	10月中		10月末			
		増減	比率	増減	比率		
	24時間死者	343	-33	1.00	2,940	-194	1.00
	30日死者	71	-2	0.21	571	-36	0.19
	30日以内死者	414	-35	1.21	3,511	-230	1.19

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

(2) 概要

11月末の県下の「30日死者」は31人（±0人）、「24時間死者」は141人（+5人）で、これらをあわせた「30日以内死者」は172人（+5人）であり、「24時間死者」の1.22倍となっている。

(3) 特徴（30日死者の構成率）

- 地区別 阪神12人（38.7%）、神戸8人（25.8%）、東播5人（16.1%）、西播4人（12.9%）、但馬2人（6.5%）、淡路0人（0.0%）、高速0人（0.0%）の順で発生している。
- 状態別 自転車乗中11人（35.5%）、歩行中8人（25.8%）、自動車乗車中6人（19.4%）、自動二輪乗車中3人（9.7%）、原付乗車中3人（9.7%）の順で発生している。
- 年齢層別 65歳以上が21人（67.7%）、25～64歳が5人（16.1%）、16～24歳が4人（12.9%）、15歳以下が1人（3.2%）の順で発生している。
- 経過日数別 10日以内の死亡が27人（87.1%）となっている。
- 損傷部位別 頭部の損傷が18人で、58.1%を占めている。

